※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１０

令和８年度　地歴公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	政治・経済　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治に関わる様々な問題や経済の基本を学ぶことによって、いま世界で起こっている事柄を理解できるだけでなく、それらが自分につながっているということがわかります。これから社会に出ていくにあたって必要な知識や考える力を身に付けてください。
政治・経済の知識は、暗記するだけでは活きません。日々のニュースなどに興味を持ち、調べたり、教員に尋ねたりするなどして学びを深めてくれたら嬉しいです。

2　学習の到達目標

・政治・経済を、国際的視野に立って客観的に理解するとともに、現実の情勢を主体的に探究する態度を身につける。
・時事的側面の強い政治経済の内容を身近な感覚で、俯瞰的に捉えられる基礎的認識力を養う。
・日本の政治・経済についての特色を歴史的、客観的に深め、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
・現代の政治・経済の諸課題について考察を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・政治・経済についての基本的な事柄を、関連付けて国際社会との関わりやその影響を総合的に理解し、その知識を身に付けている。 ・政治・経済に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・現代の政治・経済の事象に問題を見いだし、分析した上で、総合的に考察できる。また、それを表現することができる。	政治経済の学習を暗記ではなく、俯瞰的に捉え、世界との関わりやその影響を意識しつつ意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力をしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	現代の経済	1 現代の資本主義経済 2 現代経済のしくみ 3 日本経済の発展と産業構造の変化 4 福祉社会と日本経済の課題 5 国民経済と国際経済	a: 現代の経済についての基本的な事柄を国レベルの状況と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。また、現代の経済の諸資料を活用することを通して、社会の変化や国の財政について追究し考察している。 b: 現代の経済のしくみを人々の生活、国レベルから課題を見いだし、現代社会の状況と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c: 現代の経済の特徴等について関心と課題意識を高め、追究している。	・定期考査 ・定期的な小テスト	・定期考査 ・授業内の発表内容 ・授業内のワーク内容 ・提出物の内容	・受講状況観察 ・授業内の発表態度 ・提出物による評価
2	現代の政治	1 民主政治の基本原理 2 日本国憲法の基本原理 3 日本の政治機構 4 現代政治の特質と課題 5 現代の国際政治	a: 現代政治についての基本的な事柄を、俯瞰的な観点から様々な国際関係などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。また、現代政治に関する諸資料を活用することを通して、政治的判断を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 b: 現代政治における人々の生活等に課題を見いだし、個人と国家との連関を多面的・多角的に考察している。 c: 現代政治に対する関心と課題意識を高め、追究している。	・定期考査 ・定期的な小テスト	・定期考査 ・授業内の発表内容 ・授業内のワーク内容 ・提出物の内容	・受講状況観察 ・授業内の発表態度 ・提出物による評価

※令和４年度以降入学生用

3	現代社会の諸課題	1 日本社会の諸課題 2 国際社会の諸課題	a: 日本社会や国際社会の諸課題ついての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。また、日本社会や国際社会などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 b: 日本社会の諸課題と国際社会の諸課題を関連付けて多面的・多角的に考察している。 c: 日本社会や国際社会の諸課題に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	・定期考査 ・定期的な小テスト	・定期考査 ・授業内の発表内容 ・授業内のワーク内容 ・提出物の内容	・受講状況観察 ・授業内の発表態度 ・提出物による評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度